

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月5日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <https://www.elwsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一

TEL 045-624-8111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	139	6.6	45		45		34	
2019年3月期第1四半期	131	23.6	36		36		26	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	5.42	
2019年3月期第1四半期	4.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	824	599	72.7	95.37
2019年3月期	806	633	78.6	100.80

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 599百万円 2019年3月期 633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,000	15.8	60	27.4	60	25.7	50	18.9	7.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,284,944 株	2019年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	160 株	2019年3月期	160 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,284,784 株	2019年3月期1Q	6,284,784 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期損益計算書関係)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、貿易摩擦の激化や中国経済の減速による輸出減速を背景に、設備投資や開発投資の見直し機運が広がったことに加え、6月末にかけて半導体市場を巡る不確実性が高まったため、景気の足踏み感が強まりました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、中国・ASEANでのスマートフォン販売の減少の影響により電子部品・デバイスが減産となり、また、半導体製造装置等の生産財の需要も伸び悩んだ結果、業況は低調に推移しました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメントでの事業形態として、イーサネット通信技術・ストリーミング技術での強みを活かして、ネットワーク社会の発展に貢献し、多くの製品・技術を提供し、利益率の高い「高収益」型の事業モデルへの転換を推進しております。

具体的には、通信ミドルウェア事業の中核である組込み領域において、旺盛な需要のある監視システム分野では、ストリーミング技術に対する高い評価を背景に新製品投入を継続し、加えて、IP化の進むFAネットワーク分野では、イーサネット通信技術の需要の高まりを的確に捉える販売活動を展開し、事業の深耕拡大を進めております。

さらに、組込み領域以外からの需要拡大のため、当社が培った要素技術を組み合わせたパッケージ製品の提供を皮切りに、商談規模の拡大を推進するとともに、継続課金による安定的な収益確保に向けたサービスの積極的な販売活動を加速しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1億39百万円(前年同四半期比6.6%増加)となりました。また、損益面では、営業損失は45百万円(前年同四半期は営業損失36百万円)、経常損失は45百万円(前年同四半期は経常損失36百万円)となり、これに繰延税金資産の計上等があったため、四半期純損失は34百万円(前年同四半期は四半期純損失26百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、8億24百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1億27百万円があったものの、現金及び預金の増加62百万円、前払費用の増加35百万円、長期前払費用の増加34百万円、繰延税金資産の増加12百万円等によるものであります。

負債の部は、2億25百万円となり、前事業年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金の減少20百万円があったものの、前受収益の増加41百万円、長期前受収益の増加39百万円等によるものであります。

純資産の部は、5億99百万円となり、前事業年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少34百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	483,062	545,805
受取手形及び売掛金	241,213	113,497
商品及び製品	2,862	2,462
仕掛品	2,050	8,165
原材料	108	107
前払費用	6,812	42,203
その他	4,057	1,230
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	740,068	713,372
固定資産		
有形固定資産	12,006	11,933
無形固定資産	21,499	21,069
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,500
長期前払費用	—	34,035
繰延税金資産	25,772	37,776
その他	5,087	5,087
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	32,509	78,549
固定資産合計	66,016	111,553
資産合計	806,085	824,925
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,734	31,437
未払法人税等	13,344	3,473
前受収益	18,092	59,857
賞与引当金	38,396	18,051
製品保証引当金	9,933	10,269
その他	47,261	46,468
流動負債合計	156,763	169,558
固定負債		
長期前受収益	272	40,187
退職給付引当金	2,729	2,729
その他	12,822	13,039
固定負債合計	15,823	55,956
負債合計	172,586	225,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△2,408	△36,496
自己株式	△91	△91
株主資本合計	633,498	599,410
純資産合計	633,498	599,410
負債純資産合計	806,085	824,925

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
売上高	※ 131,015	※ 139,603
売上原価	65,493	78,070
売上総利益	65,522	61,533
販売費及び一般管理費	101,891	106,562
営業損失（△）	△36,369	△45,029
営業外収益		
受取利息	0	3
受取手数料	67	11
為替差益	62	—
営業外収益合計	129	15
営業外費用		
支払利息	28	47
為替差損	—	46
営業外費用合計	28	94
経常損失（△）	△36,268	△45,107
税引前四半期純損失（△）	△36,268	△45,107
法人税、住民税及び事業税	982	984
法人税等調整額	△10,920	△12,004
法人税等合計	△9,937	△11,019
四半期純損失（△）	△26,330	△34,088

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 売上高の季節的変動

前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社では、製品の出荷やお客様の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。